

[経営成績]

当第3四半期における当社グループを取り巻く状況は、同時多発テロ事件以降米国における景気後退が深まり、欧州、アジアでも景気が一段と減速したほか、日本においても輸出や設備投資の減少に加えて個人消費も低迷を深めるなど世界的に景気が悪化いたしました。このような経済環境のもと、需給バランスの悪化していた携帯電話などについては在庫調整が進み、年末にかけては米国などの一部地域で個人消費に底入れの兆しがみられましたが、通信事業会社をはじめとした企業の設備投資が依然として抑制されていることに加え、半導体市況が未だ底入れに達せず悪化し続けたことなどにより、総じて厳しい状況で推移いたしました。

(1) 連結業績

このような状況のもと、当第3四半期における売上高の状況は次のとおりです。

1. ソフトウェア・サービスは4,105億円(前年同期比3%増)

国内ではアウトソーシングをはじめとしたサービスビジネスが堅調に推移いたしました。海外では円安の影響により子会社の円換算した売上が増加したものの、欧米においては企業のIT投資抑制の影響を受けサービスビジネスの売上が減少したことなどにより、全体の売上は前年同期比3%増にとどまりました。

2. 情報処理は3,224億円(前年同期比11%減)

国内では大規模システム向けの大型サーバやファイルの売上が引き続き増加したほか、携帯電話についても第2四半期に投入した新機種が比較的好調に推移いたしました。一方、パーソナルコンピュータについては、世界的に需要が前年を大きく下回っており、国内においても売上が落ち込みました。この結果、国内全体の売上は前年を下回りました。海外においては、デスクトップパソコン用小型磁気ディスク装置の生産を終息したことにより、売上が大きく減少いたしました。

3. 通信は1,269億円(前年同期比20%減)

国内においては、IMT-2000対応の交換システムや基地局システムなどの売上が増加いたしました。海外では、北米を中心に通信事業会社が投資を大幅に抑制しており、当面、回復の目処が立たない状況にあります。この影響を受け北米向け光伝送システムの売上が大幅に落ち込み、全体の売上は減少いたしました。

4. 電子デバイスは1,197億円(前年同期比41%減)

半導体の需給環境は、需要の大幅な減少に伴い深刻な在庫・生産調整が続くなど、引き続き過去に例を見ない厳しい状況にあります。フラッシュメモリ、ロジックIC、SAWフィルタ及び化合物半導体などの主要品すべての売上が大幅に減少いたしました。

これらの結果、売上高は1兆587億円と前年同期比13%の減収となりました。

利益面では、ソフトウェア・サービスの営業利益が国内におけるサービスビジネスの売上増加と海外子会社の構造改革の進捗などにより大幅に増加したほか、情報処理においても、小型磁気ディスク装置やパーソナルコンピュータの売上は減少したものの、サーバやファイルなどのシステム機器や携帯電話の売上増により営業利益を計上いたしました。一方、北米を中心とした通信事業会社の投資抑制が続き、光伝送システムの需要減少と価格低下の影響を受け通信の営業損失は拡大しました。電子デバイスについては大幅な需要の減少、それによる生産稼働率の低下に加え、深刻な価格低下の影響を受け、大幅な営業損失を計上し、グループ全体では営業損失で458億円(前年同期は営業利益76億円)、経常損失で631億円(同経常損失73億円)を計上いたしました。また、収益力の抜本的な回復を図ることを目的として、デスクトップパソコン用小型磁気ディスク装置からの撤退、海外半導体製造工場再編などの事業構造改善費用を計上したことにより、当期純損失は1,061億円(同当期純損失690億円)となりました。

(2) 2001年度の業績予想の修正

10月時予想以後、米国における景気後退が深まり、世界経済の低迷は構造的な深刻さを増しております。米国においては年末にかけて個人消費に底入れの兆しは見られるものの、日本国内の景気は設備投資、個人消費ともに年明け以降も一段の減速が予測されております。なかでも北米に端を発した通信事業会社の投資抑制は当面回復が望めない状態であり、また半導体市況も年度内における需給関係の改善は期待出来ない状況が続いております。

当社グループの第3四半期の状況は予測の範囲に留まりましたが、これらを背景として、電子デバイス、光伝送装置、パーソナルコンピュータ、小型磁気ディスク装置及びサービスビジネスなどの第4四半期の業績に大きな影響が見込まれます。また、円安に伴い海外における現地通貨建の構造改革に関わる費用の増加が予想される他、各部門において一層の事業構造改革の推進を必要としております。

これらを踏まえ、現時点における業績見通しを10月時予想より修正し、以下のとおりといたします。

[連 結]

(単位：億円)

	2001年度予想			2000年度実績
	10月時予想	修正予想	差 異	
売 上 高	52,000	50,000	▲ 2,000	54,844
営 業 利 益	0	▲ 750	▲ 750	2,440
経 常 利 益	▲ 1,000	▲ 1,700	▲ 700	1,897
特 別 損 益	▲ 3,500	▲ 4,200	▲ 700	▲ 321
当 期 純 利 益	▲ 3,100	▲ 3,800	▲ 700	85

[単 独]

(単位：億円)

	2001年度予想			2000年度実績
	10月時予想	修正予想	差 異	
売 上 高	31,000	30,000	▲ 1,000	33,822
営 業 利 益	▲ 200	▲ 750	▲ 550	1,002
経 常 利 益	▲ 400	▲ 900	▲ 500	1,074
特 別 損 益	▲ 3,200	▲ 3,900	▲ 700	▲ 419
当 期 純 利 益	▲ 2,100	▲ 2,700	▲ 600	466

上記見通しには、主要市場における製品・部品の需給動向（日本及び欧米など）、為替相場、日米の株式市況、などに不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる場合がありえることをご承知おき願います。